

2020年7月21日

京都府知事  
西脇 隆俊 様

京都社会保障推進協議会  
議長 渡邊 賢治

### 緊急申し入れ

京都府と京都市は、7月20日、京都府内の新型コロナウイルス感染症者が過去最多の27人になったと発表しました。

いうまでもなく、この感染者数と増加のスピードは、対策を講じなければ、数週間で京都府の新型コロナウイルス感染症対策のために用意したとされる431床を超えかねない状況です。府民のいのちを守るために、緊急対策を実行することが必要であると考え、7月15日に出された「警戒基準到達をふまえた今後の対応について」を前提として、下記の点を要請します。

### 記

- 1 京都府内の感染拡大状況から、緊急に新型コロナウイルス感染症対策のために用意した431床を直ちに新型コロナウイルス感染症病床として稼働できるようにすること。同様に、軽症・無症状感染者のための療養ホテルについても緊急事態宣言時の部屋数を直ちに確保すること。
- 2 感染経路が判明している地域・業種に検査を徹底すること。
- 3 現在でも供給が不十分なマスク・ガウン・手袋などの感染防護資材について、各医療機関・介護施設などが必要とする数量を確保すること。
- 4 現在、感染判明者のうち半数近くの感染経路が不明である状況をふまえ、無症状の感

染者を介した市中での感染拡大の可能性を考慮して、緊急事態宣言時と同等の行動制限や、経路不明感染者の居住地域・職域等に関わる全員検査など、大規模な感染拡大防止策を速やかに講じること。

5 医療機関・介護施設に対する財政支援を緊急に行うこと。

6 医療機関・介護施設への風評被害が起こらないように、府民への啓蒙を強めること。

7 PCR検査の詳細な状況（設置数・稼働能力など）、療養ホテルでの暮らしぶりなど、新型コロナウイルス感染症に関わる情報を府民に丁寧に分かりやすく広報すること。

8 新型コロナウイルス感染症対策の現在の状況について、国民生活を支え、全国の検査・保健所・医療提供体制を強化する施策について、緊張感を持ち、財政面もふくめた支援を緊急に実施するように政府に求めること。

以上